

事務連絡
令和2年3月7日

各検疫所 御中

健康局結核感染症課

医薬・生活衛生局
生活衛生・食品安全企画課
検疫所業務管理室

新型コロナウイルス感染症発生国からの検疫対応について

新型コロナウイルス感染症については、「新型コロナウイルス感染症への検疫対応に際しての質問票の取り扱いについて（流行地域の追加）」（令和2年3月6日付け事務連絡、以下「3月6日付け事務連絡」という。）により、中華人民共和国（湖北省、浙江省）、大韓民国（大邱広域市、慶尚北道清道郡、慶山市、安東市、永川市、漆谷郡、義城郡、星州郡、軍威郡）、イラン（テヘラン州、コム州、ギーラーン州）からの渡航者について検疫対応をお願いしているところです。

引き続き、3月6日付け事務連絡による対応に加え、今般、新型コロナウイルス感染症の感染が世界的に拡大している現下の状況を踏まえて、水際対策の抜本的強化に向けた更なる施策を関係省庁が連携して実施することとし、当面の間、「中華人民共和国で発生した新型コロナウイルス感染症に対する水際対策の抜本的強化に向けた新たな政府の取組について（検疫強化）」（令和2年3月6日閣議了解）のとおり対応することとなりましたので、令和2年3月9日午前0時（日本時間）より下記のとおり対応をお願いいたします。

記

1. 中華人民共和国又は大韓民国から来航する航空機又は船舶に搭乗又は乗船していた者については、検疫法第34条の規定に基づく政令（令和2年政令第28号）において準用する同法第14条第1項第1号に規定する隔離又は同項第2号に規定する停留を必要なものに行うこと。
2. 中華人民共和国又は大韓民国から来航する航空機又は船舶に搭乗又は乗船していた者については、検疫所長が指定する場所において14日間待機し、国内において公共交通機関を使用しないことを要請すること。

3. 2. の要請は、健康カードにより行い、以下の確認等を行うこと。
- ア) 健康カードの滞在先について記載があり、質問票の滞在先と相違ないことを確認し、右下のチェック欄に署名を行うこと。
- イ) 質問票の表面右下にある滞在先について、自宅、その他（宿泊施設等）であるかのチェックを確認し、検疫所長が指定する場所^{*1}において 14 日間待機し、公共交通機関^{*2}を使用しないこと及び公共交通機関を使用しないことを要請すること。
- また、宿泊先が決まっていない者については、検疫所が適当な宿泊施設を紹介すること。
- ※1 公共交通機関を使用しないことを前提として、国内に居所がある者は待機場所を自宅にすることができる。また、ホテルを予約している者も同様の扱いとすることができます。
- ※2 公共交通機関とは、不特定多数が利用する電車、乗り合いバス、タクシー等
4. 中華人民共和国、大韓民国又はイランを 14 日間以内に出発して、第三国を経由して到着する者については、ポスターによる呼びかけ等により、自己申告を促し、3月6日付け事務連絡による対応に加え、中華人民共和国又は大韓民国を 14 日間以内に出発して到着した者については、質問票を徴収し、2. 3. と同様に対応すること。

水際対策の抜本的強化に関する Q&A（令和2年3月7日時点版）

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/covid19_qa_kanrenkigyou_00001.html

以上